



幸が森だより

～職員室から見た風景～

URL <http://www.fuchu19s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和5年 7月 14日

増刊号 NO. 4

校長 西尾 克人

TEL 042-365-5381

FAX 042-334-0883

副校長

【委員会活動】 本校は一昨年度まで特別活動の研究を行っていたこともあり、委員会活動が活発です。

今年度の委員会活動も児童が自主的に働く姿が見られています。栽培委員会では緑の募金活動を工夫して行いました。その結果、**20,636円**の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。またその他の委員会でも「昨年度と同じ」ではなく、新しくできることを考えて活動できています。

今回は集会委員会を紹介します。コロナ禍ではできなかった、校庭での児童集会をやりたいという声からあがりました。集会委員会の担当教員が相談に来た時には、子供たちの「やりたい」という思いを叶えられる状況になってきたことがうれしかったです。ただ久しぶりのことなので、600人以上いる児童がスムーズに動けるように計画を立てること、1時間目の授業に間に合うように工夫することを伝えました。子供たちは事前に教室をまわってルールを説明する等工夫をして、「太鼓でドン」集会を行いました。今回の児童集会は、太鼓を鳴らした数と同じ人数でグループを作るという集会でした。太鼓の音の数をしっかりと聞き、グループを作る様子はとても微笑ましいものでした。また、6年生児童がグループになれない下級生の方に走っていく様子も見られ感動しました。全校児童が一堂に会して楽しむことができる集会は、本当によいものだと改めて感じました。



新しい仲間が増えました

烏骨鶏のコッコがなくなり、飼育委員の今後の活動はどうしようかと悩んでいることを本校のPTA会長に相談したところ、すぐに対応していただき、烏骨鶏2羽を迎え入れることができました。臨時で集合した委員会の児童は「すぐに世話したい！」と喜んでいました。名前の決め方も委員会で検討し、候補をいくつか出して全校児童のアンケートによる投票で決定することになりました。決まり次第お知らせします。



このときはじっとしていましたが、今では、小屋の中を跳びまわるほど元気です。ぜひ学校にお越しの際は、校庭にある小屋を覗いてみてください。

6月20日烏骨鶏のひながやってきました。まだ小屋に慣れず、段ボールから出てこない2羽を子供たちがじっと見守っています。



田植え体験

指導してくださる方が事前に田んぼの水張りに来てくださいました。せせらぎの水量が少なく、何度も足を運んでくださいました。また「せせらぎ会」で行っている毎月の清掃活動でせせらぎ広場を清掃し、田んぼに水が流れるようにしてくださっています。皆さんの協力を得て、5年生が田植えを行いました。

泥の中に足を入れると「思ったより気持ちいい」という声があがっていました。しっかり世話をして育つ様子を観察してほしいと思います。また、この田んぼに「カブトエビ」や「ホウネンエビ」がたくさん泳いでいるのを6年生が発見しました。ホウネンエビは緑色のとてもきれいな生き物です。発見後は子供たちだけではなく、先生たちも調べたり観察したりと大盛り上がりでした。



地域協力者の方が、子供たちに説明してくださっています。

愛情をこめて田植えをしました。



周年に向けて

校歌碑の設置が終わりました。暑い中作業をしてくださった方の中に南白小の卒業生がいました。またタイムカプセルの展示会&譲渡会には多くの方が来てくださいました。当時の話を聞きながらつながっていく思いを感じました。



母子で見に来られた方もいらっしゃいました。温かな雰囲気でした。

周年の記念誌のクラス写真を昨年度の広報委員だった方が撮ってくださっています。自然な笑顔の写真が魅力的な写真ができています。ありがとうございます。

当時6年生だった方をお願いして、ご自分の作った版画を持った写真を撮らせていただいたのですが、作品とそっくりで驚きました。当時南側の道路で「西部警察」の車の爆破の撮影があったとか、マムシがよく出たとか、たくさんの思い出話に花が咲いていました。会うのは小学生以来という方や、違う学年の方も多くいらっしゃいましたが、幸が森サロンは同窓会の雰囲気で大盛り上がりでした。タイムカプセルは当時の自分に会えたり、また縁を結びなおしたいするすてきな企画だと感じました。



小中連携の取り組み

府中第六中学校の生徒と計画委員会であいさつ運動を行いました。卒業生がたくさん校門で挨拶してくれているのを見て、飛びついていく児童もいました。久しぶりにあえて嬉しかったのでしょうか。卒業生は子供たちにとって憧れの存在です。

